

# 平成28年3月期第1四半期 決算概要



東京TYFG

平成27年8月7日公表

株式会社 東京TYフィナンシャルグループ

## < 目次 >

平成28年3月期第1四半期決算サマリー・・・3

平成28年3月期第1四半期業績の進捗・・・4

貸出金利回り・預金利回り・・・5

貸出金・・・6

業種別貸出金・・・7

預金・・・8

有価証券・・・9

預かり資産・・・10

金融再生法開示債権・与信費用・・・11

自己資本比率（バーゼルⅢ基準）・・・12

コアOHR・・・13

■ 本資料には、将来の業績に係る記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化等により、異なる可能性があることにご留意ください。

■ 本資料やIRに関するご意見、お問い合わせは下記までお願いいたします。

東京TYフィナンシャルグループ 経営企画部

東京都民銀行 経営企画部 広報室  
TEL 03-3505-2155

八千代銀行 経営企画部 IR課  
TEL 03-3352-2295

# 平成28年3月期第1四半期 決算サマリー

## 業績推移

(百万円)

	東京都民銀行(単体)		
	26/6	27/6	増減
①経常収益	11,735	10,903	△832
②業務粗利益	9,557	9,185	△372
③(コア業務粗利益)	(9,386)	(9,094)	(△292)
④資金利益	7,644	7,333	△311
⑤役務取引等利益	1,428	1,393	△35
⑥その他業務利益	484	458	△26
⑦うち国債等債券損益	170	90	△80
⑧経費(△)	7,285	7,229	△56
⑨うち人件費(△)	3,320	3,342	22
⑩うち物件費(△)	3,564	3,412	△152
⑪コア業務純益	2,101	1,865	△236
⑫一般貸倒引当金繰入(△)	△118	△181	△63
⑬業務純益	2,390	2,137	△253
⑭臨時損益	△308	△233	75
⑮うち不良債権処理額(△)	366	628	262
⑯うち株式等関係損益	57	125	68
⑰経常利益	2,081	1,903	△178
⑱特別損益	△31	△72	△41
⑲法人税等(△)	622	576	△46
⑳四半期純利益	1,427	1,254	△173
与信関係費用(△)	247	447	200
連結経常収益	12,290	11,240	△1,050
連結経常利益	2,536	2,278	△258
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,717	1,500	△217

	八千代銀行(単体)		
	26/6	27/6	増減
①経常収益	10,034	9,884	△150
②業務粗利益	8,293	8,234	△59
③(連結コア業務粗利益)	(7,753)	(7,772)	(19)
④資金利益	6,882	6,660	△222
⑤役務取引等利益	785	1,007	222
⑥その他業務利益	625	567	△58
⑦うち国債等債券損益	540	461	△79
⑧経費(△)	6,790	6,659	△131
⑨うち人件費(△)	3,698	3,658	△40
⑩うち物件費(△)	2,451	2,304	△147
⑪コア業務純益	963	1,113	150
⑫一般貸倒引当金繰入(△)	—	△88	△88
⑬業務純益	1,503	1,664	161
⑭臨時損益	350	339	△11
⑮うち不良債権処理額(△)	215	174	△41
⑯うち株式等関係損益	57	37	△20
⑰経常利益	1,854	2,003	149
⑱特別損益	△2	154	156
⑲法人税等(△)	598	735	137
⑳四半期純利益	1,253	1,422	169
与信関係費用(△)	91	86	△5
連結経常収益	10,106	9,910	△196
連結経常利益	1,866	1,878	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,167	1,262	95

東京TYFG(連結)	
	27/6
①連結経常収益	20,548
②連結業務粗利益	17,361
③(連結コア業務粗利益)	(16,870)
④資金利益	13,233
⑤役務取引等利益	3,086
⑥その他業務利益	1,041
⑦経費(△)	14,226
⑧与信関係費用(△)	510
⑨株式等関係損益	165
⑩持分法による投資損益	47
⑪その他	714
⑫経常利益	3,554
⑬特別損益	81
⑭税金等調整前四半期純利益	3,635
⑮法人税等(△)	1,275
⑯四半期純利益	2,360
⑰非支配株主に帰属する四半期純利益(△)	6
⑱親会社株主に帰属する四半期純利益	2,354

### ◆ 東京TYFG(連結)の業績

○ 経常利益35億円、親会社株主に帰属する四半期純利益23億円を計上。

※今年度より、連結決算における当期(四半期)純利益は、「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」に変更。

※上記表示は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 平成28年3月期第1四半期業績の進捗

## ■ 計画および進捗率(東京TYFG連結)

(億円)

	27/6 実績	28/3 計画	進捗率	27/3 実績(参考)
経常利益	35.5	129	27.5%	118
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	23.5	85	27.6%	※572
ROE(両行連結の合算)	—	4.74%	—	5.56%

※ 27/3の当期純利益の実績には、「負ののれん発生益」504億円の特異要因が含まれております。

## ■ 計画および進捗率(東京都民)

(億円)

	27/6 実績	28/3 計画	進捗率	27/3 実績(参考)
①コア業務粗利益	90.9	375	24.2%	372
②うち資金利益	73.3	287	25.5%	292
③経費(△)	72.2	288	25.0%	288
④コア業務純益	18.6	86	21.6%	83
⑤与信関係費用(△)	4.4	20	22.0%	15
⑥経常利益	19.0	67	28.3%	68
⑦当期(四半期)純利益	12.5	43	29.0%	34
⑧経常利益(連結)	22.7	77	29.4%	80
⑨親会社株主に帰属する当期 (四半期)純利益	15.0	48	31.2%	42

## ◆ 平成28年3月期計画IIに対する進捗

- 東京TYFG(連結)の27/6期業績の進捗は、経常利益27.5%、親会社株主に帰属する当期純利益27.6%と順調なスタート。
- 東京都民銀行は、資金利益がほぼ計画通りの進捗となったことに加え、与信費用が低水準で推移したこと等により、経常利益、当期純利益ともに順調な推移となる。
- 八千代銀行は、コア業務粗利益が25%に近い進捗で推移したことに加え、与信費用が低い水準で推移したことから、経常利益、当期純利益とも30%を上回る進捗となる。

## ■ 計画および進捗率(八千代)

(億円)

	27/6 実績	28/3 計画	進捗率	27/3 実績(参考)
①コア業務粗利益	77.7	314	24.7%	312
②うち資金利益	66.6	267	24.9%	273
③経費(△)	66.5	256	25.9%	257
④コア業務純益	11.1	58	19.1%	55
⑤与信関係費用(△)	0.8	13	6.1%	△3
⑥経常利益	20.0	66	30.3%	93
⑦当期(四半期)純利益	14.2	46	30.8%	60
⑧経常利益(連結)	18.7	70	26.7%	99
⑨親会社株主に帰属する当期 (四半期)純利益	12.6	49	25.7%	63

# 貸出金利回り・預金利回り

## ■ 利回り推移（両行合算）

	26/3	(26/6)	27/3	(27/6)
貸出金利回り	<b>1.62 %</b>	<b>1.54%</b>	<b>1.52%</b>	<b>1.43 %</b>
預金利回り	<b>0.06 %</b>	<b>0.05%</b>	<b>0.05%</b>	<b>0.05 %</b>
預貸金利回り差	<b>1.56 %</b>	<b>1.49%</b>	<b>1.47%</b>	<b>1.38 %</b>

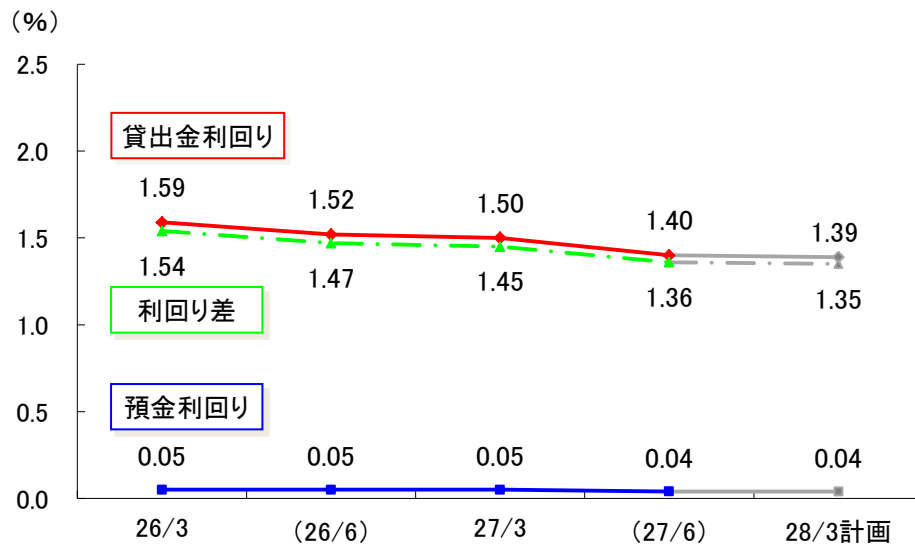
### ◆ 貸出金利回り

- 景気の緩やかな回復傾向は続くものの、中小企業における資金需要喚起への影響はまだ限定的であり、競争激化のなか貸出金利回りは低下傾向が続く。

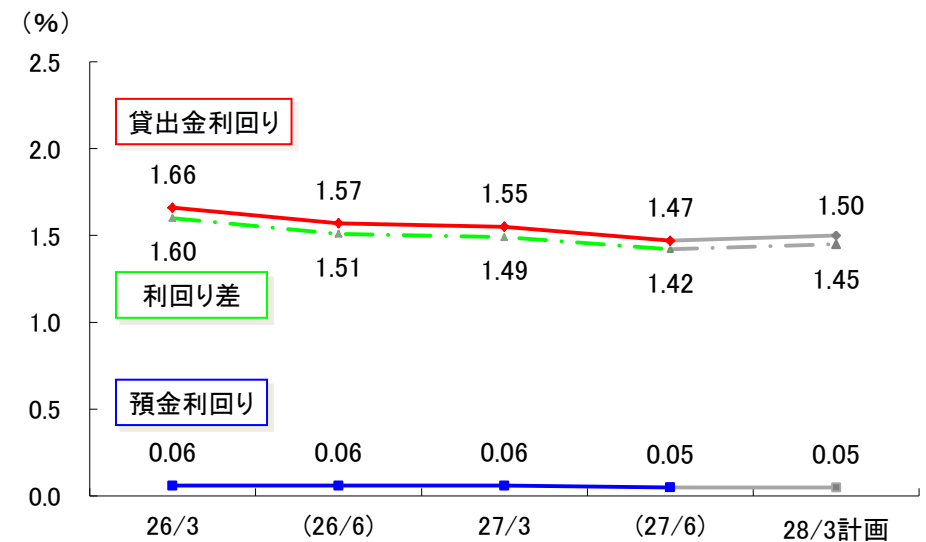
### ◆ 貸出金利回り改善への取組み

- 付加価値の高いサービスの提供やきめ細かな対応を図ることで、お客さまとの信頼関係を高め、競争優位性を発揮し、貸出金利回りの下げ幅縮小を図る。

## ■ 利回り推移（東京都民）



## ■ 利回り推移（八千代）



# 貸出金

## ■ 貸出金残高（東京TYFG連結）

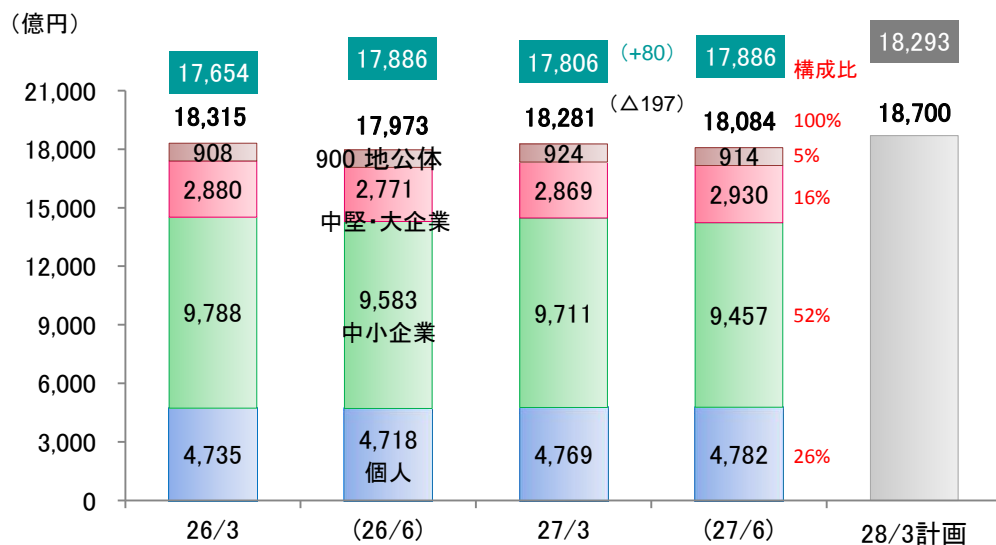
	27/3	(27/6)	前年度末比
貸出金末残	3兆2,948億円	3兆2,825億円	△123億円

## ◆ 貸出金残高

- 東京TYFG（連結）の貸出金残高は、前年度末比123億円減少の3兆2,825億円となる。
- 東京都民銀行では、中堅・大企業向け、個人向け貸出増加等により前年同期比111億円の増加となったものの、中小企業向けが伸び悩み、前年度末比197億円減少の1兆8,084億円となる。
- 八千代銀行では、事業法人室をはじめとした営業体制の強化等により、前年度末比75億円増加の1兆4,735億円となる。
- 東京TYFGの預貸率は72.7%  
(東京都民銀行 75.8%、八千代銀行 68.9%)
- 両行合算の貸出金のうち79.7%が中小企業及び個人向けの貸出

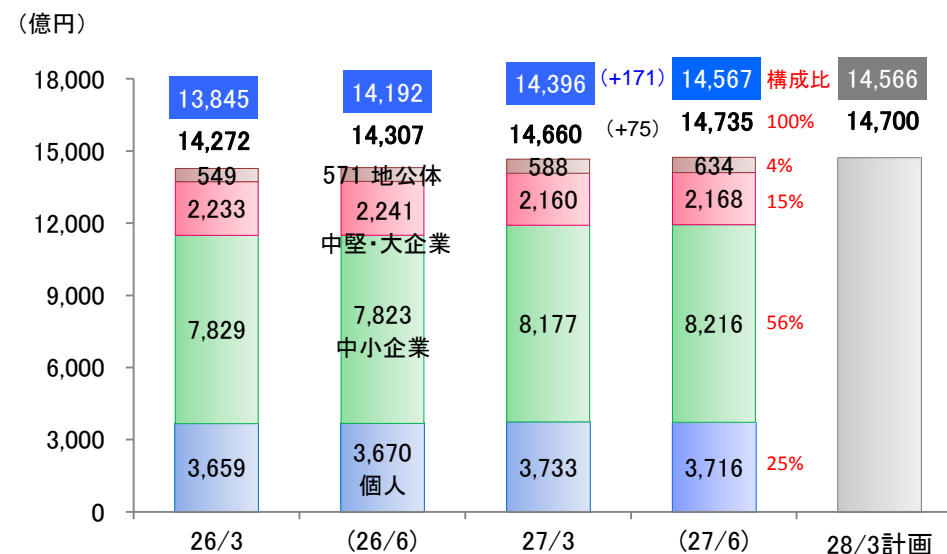
## ■ 顧客別貸出金残高推移（東京都民）

（白抜き数値は期中平残、カッコ内は前年度末比増減）



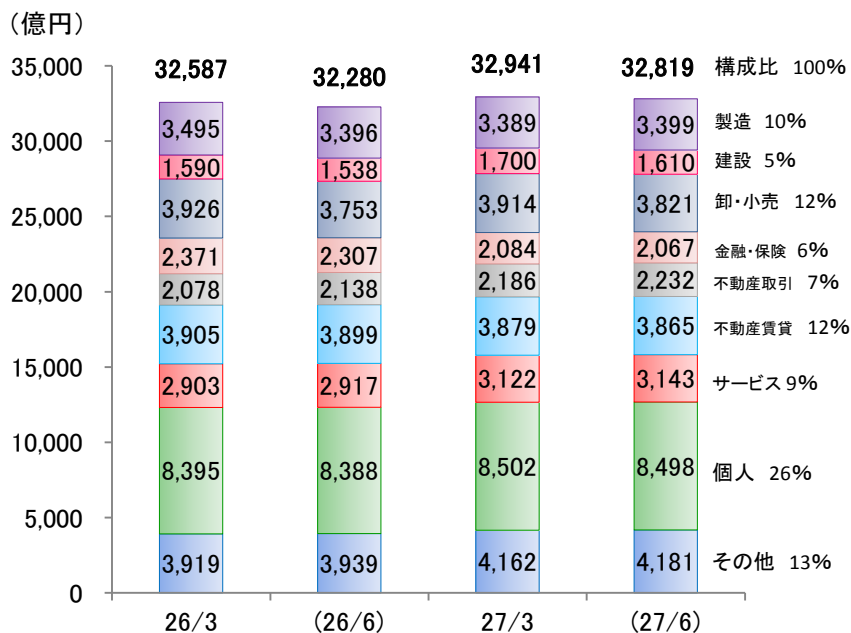
## ■ 顧客別貸出金残高推移（八千代）

（白抜き数値は期中平残、カッコ内は前年度末比増減）



# 業種別貸出金

## 業種別貸出金残高推移（両行合算）



## 業種別貸出金

○ 構成比が上位の業種（個人向けを除く）

＜東京都民銀行＞

①卸・小売14% ②製造12% ③サービス10%

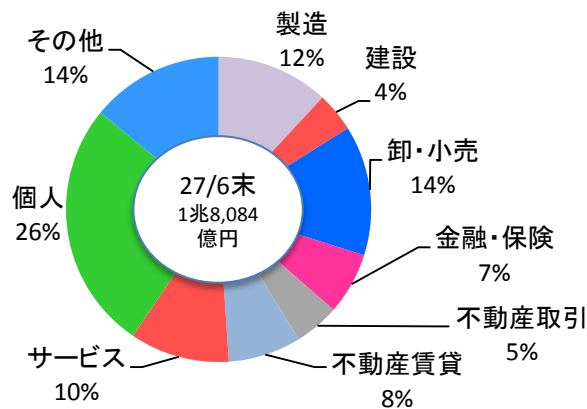
＜八千代銀行＞

①不動産賃貸17% ②不動産取引9% ③卸・小売9%

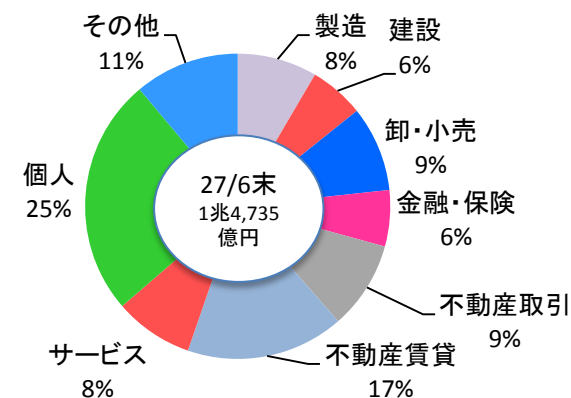
○ 両行とも比較的業種が分散されており、両行を合算するとさらに分散されバランスのとれたポートフォリオ構成となる。

○ 住宅ローンは、両行合算では着実に増加。

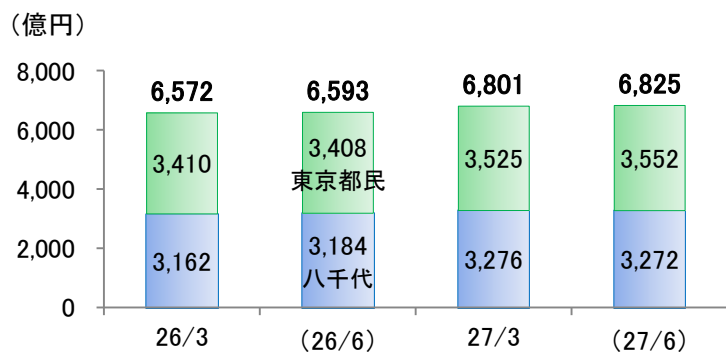
## 業種別貸出金構成比（東京都民）



## 業種別貸出金構成比（八千代）



## 住宅ローン残高推移（両行合算）



# 預金



## ■ 預金残高（東京TYFG連結）

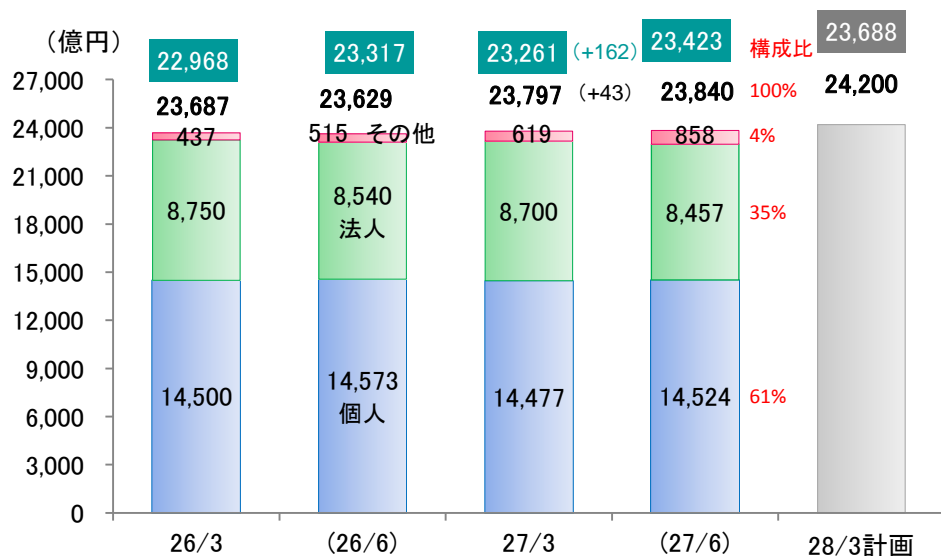
	27/3	(27/6)	前年度末比
預金末残	4兆4,913億円	4兆5,105億円	+192億円

## ◆ 預金残高

- 東京TYFG(連結)の預金残高は、前年度末比192億円増加の4兆5,105億円となる。
- 東京都民銀行は、個人流動性預金を中心に前年度末比43億円増加の2兆3,840億円となる。
- 八千代銀行は、法人・個人の流動性預金および公金の増加を中心に、前年度末比148億円増加の2兆1,375億円となる。

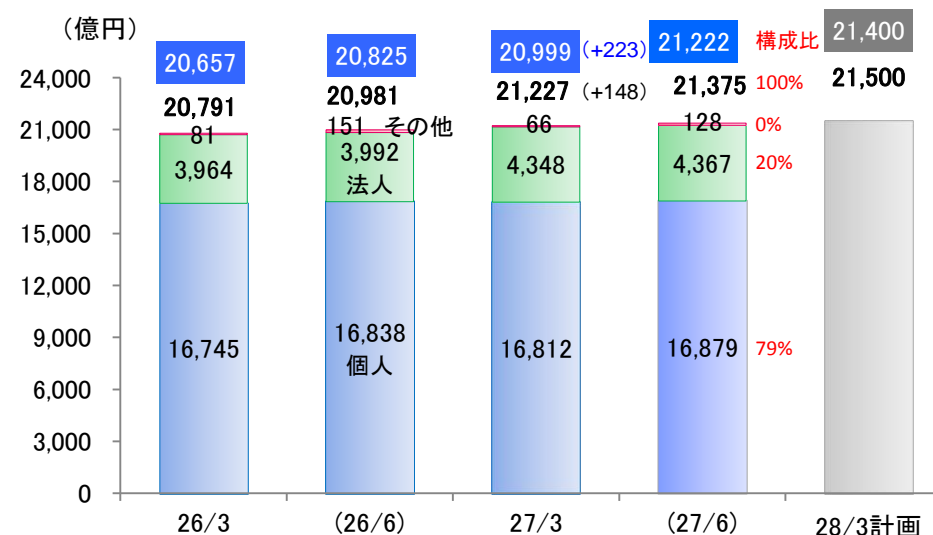
## ■ 顧客別預金残高推移（東京都民）

（白抜き数値は期中平残、カッコ内は前年度末比増減）



## ■ 顧客別預金残高推移（八千代）

（白抜き数値は期中平残、カッコ内は前年度末比増減）





# 有価証券

## ■ 有価証券残高（東京TYFG連結）

	27/3	(27/6)	前年度末比
有価証券末残	1兆2,368億円	1兆2,343億円	△25億円

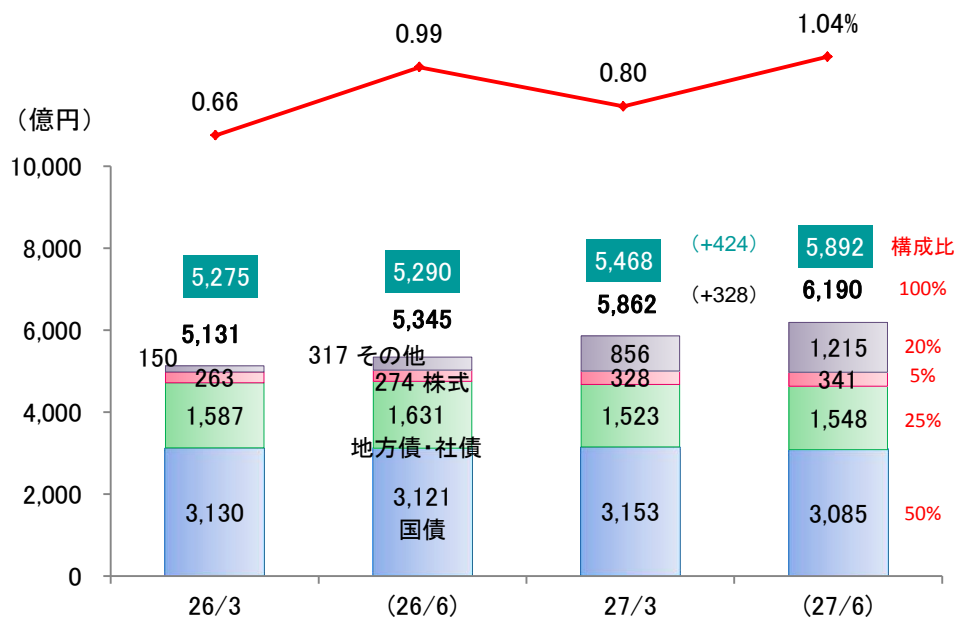
◆ 東京TYFGの預証率 **27.3%**

## ◆ 有価証券残高

- 東京TYFG（連結）の有価証券残高は、前年度末比25億円減少の1兆2,343億円となる。
- 東京都民銀行は、低金利環境下、運用の多様化を図るべく外債投資を増やしたこと等により、前年度末比328億円増加の6,190億円となる。
- 八千代銀行は、分散投資と収益性向上の観点から国内債券の売却を進めた結果、前年度末比352億円減少の6,027億円となる。

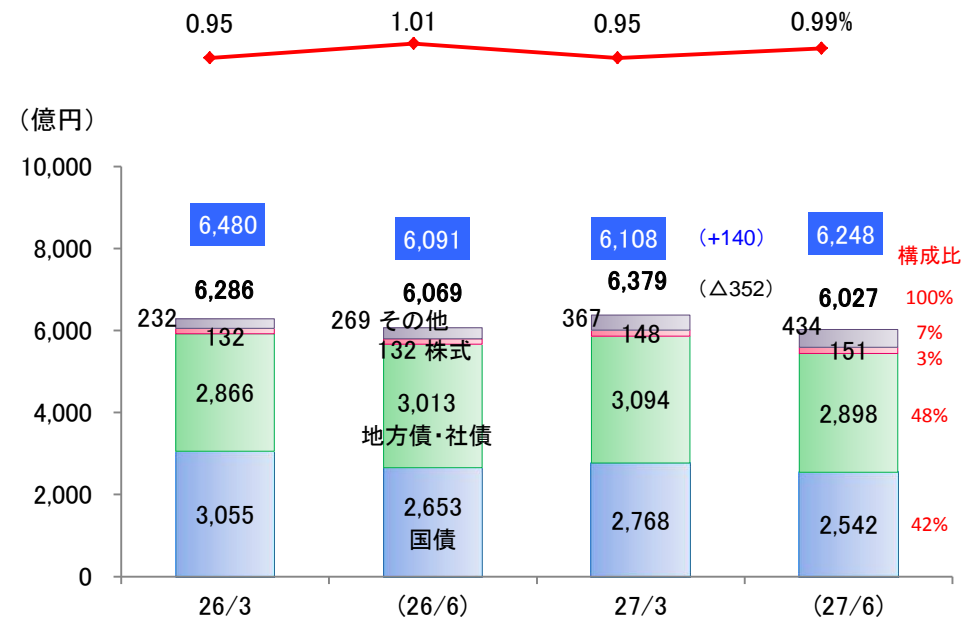
## ■ 有価証券残高・利回り推移（東京都民）

（白抜き数値は期中平残、カッコ内は前年度末比増減）



## ■ 有価証券残高・利回り推移（八千代）

（白抜き数値は期中平残、カッコ内は前年度末比増減）



# 預かり資産

## ■ 預かり資産残高（両行合算）

（億円）

	26/3	(26/6)	27/3	(27/6)	前年同期比
投資信託	1,899	1,966	2,272	2,230	+264
保険	1,850	1,871	1,907	1,925	+54
公共債	1,042	1,023	827	780	△243
残高合計	4,791	4,861	5,007	4,935	+74

### ◆ 預かり資産残高

○ 預かり資産販売の体制整備・強化等により、投信販売に注力した結果、両行合算で投信残高は、前年同期比264億円増加の2,230億円となる。

### ◆ 預かり資産販売体制

#### <東京都民銀行>

○ 主に個人営業を担っているお客さま営業課行員による店頭での販売、営業課個人担当行員、個人営業専担嘱託社員であるマネーコンサルタントが中心となり販売。また、証券会社等出身の派遣社員を中心とした資産運用パートナー、資産運用アドバイザーを各営業店に配置。

#### <八千代銀行>

○ 各営業店に資産運用責任者と1名以上の資産運用担当者を配置。また、今年度から、複数の店舗を横断的に活動する「エリア・マネーアドバイザー」を配置し、これまで取り込めていなかった富裕層を中心に活動強化。

## ■ 預かり資産残高推移（東京都民）

（億円）

	26/3	(26/6)	27/3	(27/6)	前年同期比
投資信託	1,434	1,475	1,663	1,588	+113
保険	1,186	1,184	1,145	1,139	△45
公共債	319	299	233	215	△84
残高合計	2,940	2,958	3,042	2,943	△15

## ■ 預かり資産残高推移（八千代）

（億円）

	26/3	(26/6)	27/3	(27/6)	前年同期比
投資信託	464	491	609	641	+150
保険	663	686	762	785	+99
公共債	722	724	593	565	△159
残高合計	1,850	1,902	1,965	1,992	+90

# 金融再生法開示債権・与信費用

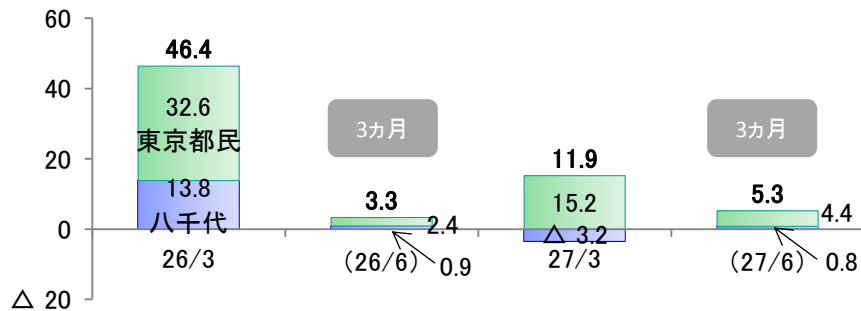
## 金融再生法開示債権額および比率（両行合算）

(億円)

	26/3	(26/6)	27/3	(27/6)	前年同期比
開示債権額	1,236	1,132	1,066	1,055	△77
開示債権比率	3.76%	3.48%	3.20%	3.18%	△0.30pt

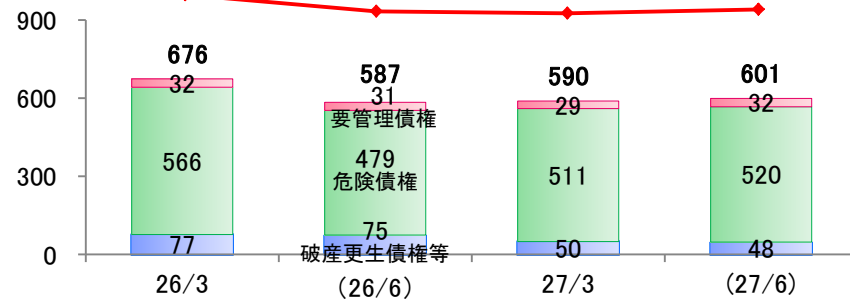
## 与信費用(両行合算)

(億円)



## 金融再生法開示債権額および比率（東京都民）

(億円)



### 金融再生法開示債権額および比率(部分直接償却を実施した場合)

- 開示債権額は、両行合算で前年同期比77億円減少し1,055億円となる。
- 開示債権比率は、分子となる開示債権額の減少に加え、分母の中心となる貸出金が増加したことで、前年同期比0.30ポイント低下し3.18%となる。

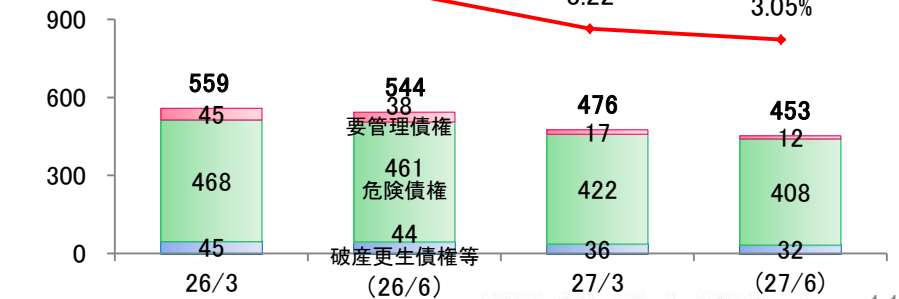
■ 両行は、部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の計数を記載しております。

### 与信費用

- 与信費用は、貸出先の業況が比較的安定していることや、再生支援等にも注力していることから、両行とも低位で推移。

## 金融再生法開示債権額および比率（八千代）

(億円)



# 自己資本比率(バーゼルⅢ基準)

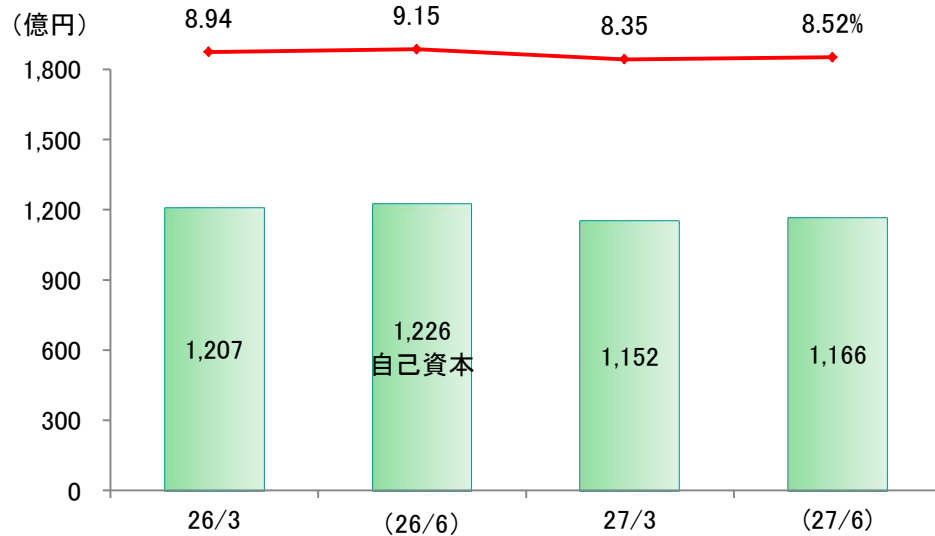
## ■ 連結自己資本比率(東京TYFG)

	27/3	(27/6)	前年度末比
自己資本	2,298億円	2,316億円	+18億円
リスク・アセット	2兆4,814億円	2兆5,008億円	+194億円
自己資本比率	9.26%	9.26%	±0pt

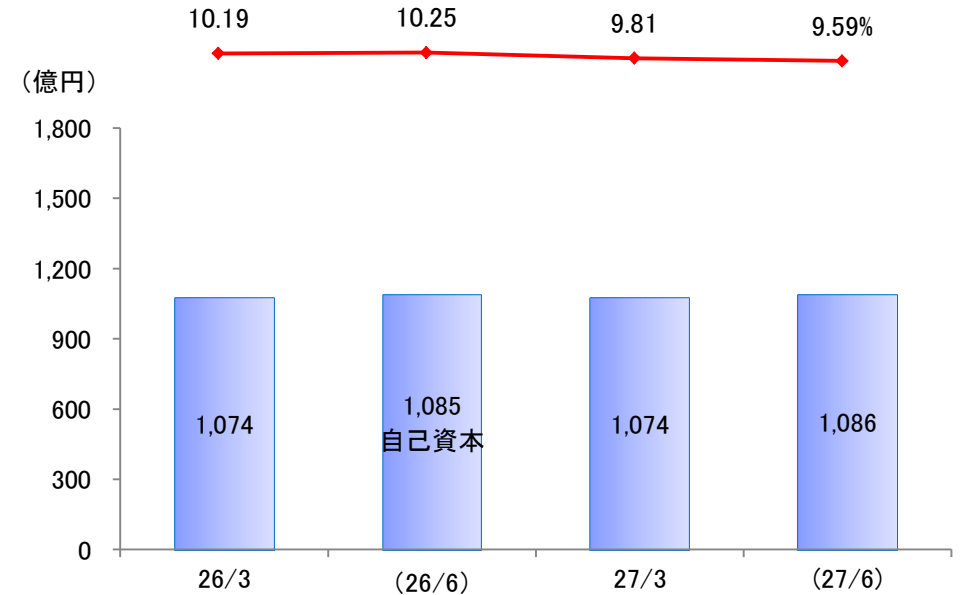
### ◆ 連結自己資本比率

- 東京TYFGの連結自己資本比率は、前年度末比横ばいの9.26%となる。
- 東京都民銀行は、前年度末比0.17ポイント上昇。八千代銀行は、自己資本は増加したものの、貸出金の増加等によりリスクアセットが増加したことにより前年度末比0.22ポイント低下。

## ■ 連結自己資本比率 (東京都民)



## ■ 連結自己資本比率 (八千代)



# コアOHR



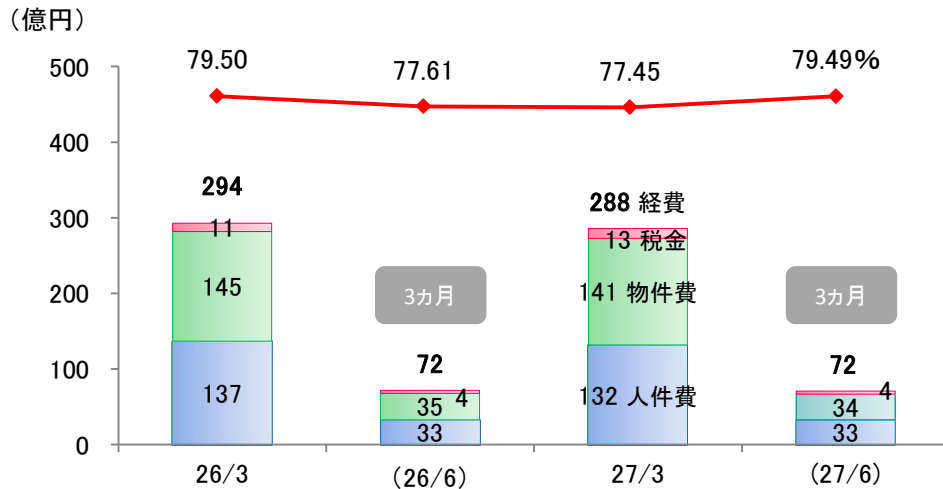
## ■ コアOHR（両行合算）

	27/3	(27/6)	前年度末比
コアOHR	79.68%	82.34%	+2.66pt

## ◆ コアOHR

○ 両行合算のコアOHRは前年度末比2.66ポイント上昇の82.34%となる。経費が、他の四半期に比べて第1四半期にやや片寄る傾向にあること等が影響。

## ■ 経費およびコアOHRの推移（東京都民）



※コアOHR＝経費÷（業務粗利益－国債等債券損益）×100

## ■ 経費およびコアOHRの推移（八千代）

